

# 令和元年矢巾町議会定例会12月会議

## 一般質問議員と質問事項一覧表

受付番号	質問議員	質問事項	答弁者
1	5番 村松信一	1. 令和2年度当初予算編成について	町長
		2. 保健福祉施策推進上の課題等について	町長
		3. 岩手医科大学附属病院の総合移転への対応について	町長
2	10番 昆秀一	1. 岩手医科大学附属病院移転による効果について	町長
		2. 補助金について	町長・監査委員
		3. 性について	町長・教育長
		4. 心のケアについて	町長・教育長
3	9番 赤丸秀雄	1. 子育て世帯への更なる支援施策について	町長
		2. ごみ減量への取り組み強化について	町長
		3. 教育環境改善などの取り組みについて	町長・教育長
		4. 町施設の電気料削減の推進について	町長
4	3番 小笠原佳子	1. 除雪について	町長
		2. 医療費等の扶助費の削減について	町長
5	6番 廣田清実	1. 市街化区域の町有地の活用について	町長
		2. 学力向上の取り組みについて	教育長
6	7番 高橋安子	1. 多世代型地域包括支援体制について	町長
		2. アンテナショップ開設について	町長
		3. 煙山ひまわりパークの観光振興について	町長
7	15番 山崎道夫	1. 移住支援の取り組みについて	町長
		2. プログラミング教育に向けた取り組みについて	教育長
		3. コメの消費拡大に向けた取り組みについて	町長
8	1番 藤原信悦	1. 徳丹城跡周辺及び藤沢状森古墳群の整備と地域活性化について	教育長
		2. 市街化調整区域における地区計画制度による企業誘致について	町長
9	14番 小川文子	1. デマンドタクシーの改善と市街地循環バスの試験運行について	町長
		2. 南昌グリーンハイツの改修を	町長
		3. 加齢性難聴者に補聴器支援を	町長
10	4番 谷上知子	1. 女性消防団の活動について	町長
		2. 除雪と排雪について	町長
		3. 交通渋滞緩和と安全な通学路について	町長
11	13番 川村よし子	1. 保育園等の副食費無料化について	町長
		2. 学校給食費の無料化について	教育長
		3. 日米貿易協定と農業者支援について	町長
12	11番 藤原梅昭	1. 町民の命と財産を守る「セーフティファースト」安全第一の対応状況について	町長
		2. 職員力を活かした町政運営について	町長
計	12名 34件	<b>【一般質問実施日】</b> 令和元年12月5日(木)午前10時 ※受付No.1～4 令和元年12月6日(金)午前10時 ※受付No.5～8 令和元年12月9日(月)午前10時 ※受付No.9～12	町長 30件 教育長 7件 監査委員 1件

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. <u>1</u>	令和元年11月19日	午前・ <del>午後</del> 9 時00分
議席番号 <u>5</u> 番	村松 信 一	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 令和2年度当初予算編成について (答弁者) 町長</p> <p>令和元年度3月期の上場企業業績予想において、下方修正の企業や個人消費の低調ぶりが目立つなど、減速予想の経済状況の中、本町の予算編成について伺います。</p> <p>① 新年度の予算編成において、今日的課題として重点的に取り組む事業は何か。</p> <p>② 個人・法人住民税等の町税や、ふるさと納税の収入見込みをどう捉えているか。また、企業版ふるさと納税については、どう考えているか。</p> <p>③ 各種懇談会や町民からの意見や提言、議会定例会9月会議における決算審査の附帯決議をどう反映させるのか。</p> <p>④ 町有遊休資産の利活用について、検討委員会での協議結果を反映する新年度事業はあるか。</p>

質問 2

(質問事項) 保健福祉施策推進上の課題等について  
(答 弁 者) 町 長

- ① 厚生労働省では、「ロタウイルスワクチン」を令和2年10月1日から予防接種法に基づく定期接種(無料)とする方針を打ち出し、今後自治体への周知が行われることと思われる。現在の任意接種と、これまでの接種状況について、町民からの要望や問い合わせの有無、及び対応をどのように行ってきたか。また、今後、医師会や医療機関との協議をどのように進めていくか。
- ② ロタウイルスワクチンの接種について、令和2年8月1日生まれの子供から無料対象となるが、令和2年4月1日以降誕生の子供から無償とする町独自の対応策を実施してはどうか。
- ③ 2025年問題への対応について、第7期介護保険事業計画の高齢者等の将来推計における、高齢者人口及び高齢化率等の数値は、国立社会保障・人口問題研究所の公表数値との乖離が見られる。介護保険事業計画の数値はどのように算出したものか。また、今年は第7期計画期間の2年目であるが、介護等給付に係る進捗状況と当初目標との乖離はないか。これに伴う介護費用見込み額の修正はないか。
- ④ 国では、介護の一手手前であるフレイルの方を把握するため、75歳以上を対象に新しい健診を始めるということだが、町ではどこまで把握しているか。体重減少・疲労感・生活活動の低下・握力の低下・歩行速度の低下の5項目で自覚症状を確認できるフレイル評価基準が示されているが、本町での取り扱い状況はどうか。
- ⑤ 国では、高齢者保健事業と介護予防の一体的実施を推進し調整交付金事業を創設するとしているが、財源としてどう活用し介護給付費の抑制に係る数値目標を定めるのか。
- ⑥ 今年スタートしたいわて県民計画において、がん・心疾患・脳血管疾患による死亡率に関し新たな目標を盛り込んでいるが、本町における生活習慣病予防施策との整合性、設定目標及び進捗状況について伺う。

質問3

(質問事項) 岩手医科大学附属病院の総合移転への対応について

(答弁者) 町 長

- ① 混雑回避のため郊外の道路を利用する車両が増加しているが、交通量増加に対する安全対策の考えは。また、公共交通機関の充実を図るため、いわて銀河鉄道の矢幅駅乗り入れなど鉄道の増便の見通しについて伺う。
- ② 交流人口の増加に対応し、新たに計画しているイベントや新規事業の考えはあるか。
- ③ 以前から課題であったイセファームやリサイクルコンポストセンター等の悪臭について、医大移転によりさらに問題視されているが、どう取り組む考えか。

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. <u>2</u>	令和元年11月19日	午前・ <del>午後</del> 9 時00分
議席番号 <u>10番</u>	昆 秀 一	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 岩手医科大学附属病院移転による効果について (答弁者) 町長</p> <p>本年9月21日に岩手医科大学附属病院が盛岡市から矢巾町に移転してまいりました。この附属病院は県内唯一の特定機能病院であり、移転は国内でも前例のないものであったと聞いていますが、無事移転は完了いたしました。</p> <p>今後町内において、県内外の医療の拠点を担ってもらうことになってきます。それに伴って本町においてもさまざまなメリットやデメリットも考えられますことから、以下お伺いいたします。</p> <p>① 附属病院周辺やアクセス道路の渋滞等、現状と今後の整備や対策は。</p> <p>② 附属病院移転による本町への交流人口の変化や経済効果は。</p> <p>③ 附属病院移転に伴っての移住者等の受け入れ態勢は。</p>
質問2	<p>(質問事項) 補助金について (答弁者) 町長、監査委員</p> <p>町では、国からの補助により直営で事業を行っているもののほか、町が他の事業者に対して補助などを行っている事業もあります。</p>

	<p>その効果については、町民の福祉の増進にどのように寄与されているのかは厳密に検証が必要なことから、以下お伺いいたします。</p> <p>① 今年度補助を行っている事業はいくつあり、昨年度までの補助との数や質の違いはあるか。</p> <p>② 補助事業に対する考え方と、なぜその事業を補助するのかを大きな事業など何点かお示しくください。</p> <p>③ 来年度から新しく始める予定の補助事業は考えているのか。また、近年極端に減らされたり、増えたりした補助や、今後そのような予定の補助はないのか</p> <p>④ 補助事業に対する効果の検証はどのように行われているのか。</p> <p>⑤ 補助に対する国からのガイドラインに沿った基準などの見直しは、どのように行われているのか。</p> <p>⑥ 財政援助団体等に対する監査はどのように行っているのか。</p>
<p>質問 3</p>	<p>(質問事項) 性について (答 弁 者) 町長、教育長</p> <p>先日、町内で新生児を殺害したとする容疑で女性が逮捕されるという事件が報道されました。事件の詳細については分かりませんが、いずれ性に対しては今までタブー視されてきたことは確かです。</p> <p>そのことが事件につながった可能性も少なからずあるのではと思われることから、今まであまり触れられてこなかった性に対する問題について、可能な範囲で以下お伺いいたします。</p> <p>① 学校での性教育の状況は。</p> <p>② 障がい者の性に対する支援状況は。</p> <p>③ 性被害者などに対する支援や相談体制は。</p> <p>④ 性依存症の対策と支援は。</p>

	<p>⑤ 性感染症対策は。</p> <p>⑥ セクハラ対策は。</p> <p>⑦ LGBTQへの支援は。</p>
<p>質問 4</p>	<p>(質問事項) 心のケアについて (答 弁 者) 町長、教育長</p> <p>心とは何か。心とは非常に抽象的な概念であります。ですが、その心にかかる病気は誰にでもかかる可能性がありますし、目には見えないというやっかいさもあります。けれども、その多くは治療することで回復するようです。</p> <p>そこで、その心に関してのケアについて、以下お伺いいたします。</p> <p>① 現在、心の病気にかかっている方の実数や割合などの実情を把握しているか。</p> <p>② 心の病気に対する予防についてどう支援を行っているのか。</p> <p>③ 心の病気への正しい理解について、どう啓発しているのか。</p> <p>④ 心の病気に苦しんでいる方への相談体制はどうしているのか。</p> <p>⑤ 学校では、心の健康に関してどのように学び、予防や支援を行っているのか。</p>

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. <u>3</u>	令和元年11月19日	午前・ <del>午後</del> 9 時00分
議席番号 <u>9</u> 番	赤丸秀雄	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 子育て世帯への更なる支援施策について (答弁者) 町長</p> <p>未来ある子どもたちを生き生き育てるために、更なる支援が必要であると思い、町の考えについて以下伺う。</p> <p>① 子ども預かりのファミリーサポート組織を構築する考えを伺う。</p> <p>② 第3子以降のいる世帯の子どもへの手厚い支援が必要と思うが、その考えを伺う。</p> <p>③ 新婚新生活支援補助金制度について、所得制限を設けない制度を町として実施する考えは。また、子どもがいる世帯の移住定住促進のため、所得制限のない新たな補助金制度を設ける考えがないか伺う。</p> <p>④ 町内には共働きの若い世帯が多く、3歳未満児、特にも0歳児の保育体制の充実が必要であると考え。妊娠・出産時からの意向を把握した対応策に取り組む考えを伺う。</p>
質問2	<p>(質問事項) ごみ減量への取り組み強化について (答弁者) 町長</p> <p>町長は町民懇談会や秋まつり時の資源回収コンクール表彰式において、ごみ減量の必要性を強調しておりました。そこでその内容について、以下を伺う。</p>



	<p>① 生ごみの水切りは、ごみ減量や臭いの予防に効果があるといわれている。町民懇談会において町長は、生ごみの収集における水切りの工夫を進めると話していたが、その進捗状況について伺う。</p> <p>② 資源回収分別の徹底を自治会としても取り組んでいるが、ごみ減量には町の積極的な姿勢が必要である。町では、どのような取り組み強化策を考えているか伺う。</p> <p>③ 高齢者世帯でごみ出しに苦慮されていることを前回会議で質問したが、現状把握の結果はどうであった伺う。</p> <p>④ 11月の町民懇談会で町長はリサイクルセンター構想を話されていました。是非早期に取り組んで頂きたいが、近い将来に実現可能なことであるか伺う。</p>
<p>質問3</p>	<p>(質問事項) 教育環境改善などの取り組みについて (答弁者) 町長、教育長</p> <p>町民などの要望を踏まえ以下の改善、取り組みを望むが、その考えについて伺う。</p> <p>① 通学路などの安全確保上から2点について伺う。 (1)通学路における防犯灯の設置や管理は、町が経費を負担すべきと考えるがどうか。 (2)一時停止のない交差点(特にT字路など)において、歩道の延長上に停止ラインのない道路が見受けられる。早期に停止ラインの表示を望むがその考えは。</p> <p>② 将来町に居住することなどを条件に、高校生以上の学生を対象とした町独自の給付型奨学金制度導入を早期に望むが、町の考えを伺う。</p> <p>③ 小中学生の給食費無償化が必要と思うが、取り組む方針などの考えを伺う。</p> <p>④ 矢巾型コミュニティ・スクール構想の運営体制をどのように考えているか伺う。また、導入した場合の地域住民の役割など、具体的な構想が出来ていれば伺う。</p>

質問 4

(質問事項) 町施設の電気料削減の推進について

(答 弁 者) 町 長

町施設の2つのブロックに新エネルギーシステムを導入して、CO<sub>2</sub>削減や化石燃料に代わる新エネルギー活用による電力の効率化を図るとのことであるが、導入以外の施設電力の削減も必要と考えることから、以下について伺う。

- ① 中学校や浄水場など比較的電力量が大きいと思われる施設を調査し、電気料削減の効果を検証する必要性を感じるが、町の考えを伺う。
- ② 町管理の街灯及び水銀灯の電球を早急にLED化して、電気料削減を図るべきと考えるがその考えを伺う。

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. <u>4</u>	令和元年11月19日	午前・ <del>午後</del> 9 時00分
議席番号 <u>3</u> 番	小笠原 佳子	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 除雪について (答弁者) 町長</p> <p>医療機関や商業施設等への道路交通の確保、また児童生徒の通学路の安全確保は、これから迎える冬期間において、より重要となってきます。冬期間における地域住民の生活を守るため、除雪について以下伺います。</p> <p>① 除雪の出動基準はどのようになっているか。 ② 除雪路線により委託業者は例年固定されているのか。また、苦情の数や内容は、路線や委託業者により異なるか。また、主な苦情の内容は。 ③ 今年度の委託業者は何社で、オペレーターは何名を予定しているか。そのうち、除雪作業の熟練者は何名か。また、技術向上のため、町ではどのような指導を行っているのか。 ④ 高齢者宅の除雪について、どのような対策がとられているのか。 ⑤ 岩手医科大学周辺について、除雪の基準は他の町道と同様か。 ⑥ 行政区ごとに除雪機を貸与して、地域で共助する考えはないか。</p>

質問 2

(質問事項) 医療費等の扶助費の削減について

(答弁者) 町 長

本町の一般会計予算の扶助費が10年で2倍以上になっていることから、以下伺います。

- ① 慢性胃炎の治療、すなわちピロリ菌の除菌により、胃がんを予防できることが医学的にも確認されています。ピロリ菌への対策を推進することで、胃がんを予防し、扶助費の削減につながると考えられます。ピロリ菌の検査や除菌療法の受診率向上を図るため、健康保険が適用されない方を対象とした補助について、町の考えを伺う。
- ② メディカルフィットネス推進事業により、健康寿命の延伸を図り、医療費等の扶助費を削減することは、望ましいと考えられます。多くの町民に利用してもらうため、利用料金を町民以外の利用者より安価にする考えはないか伺う。

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. <u>5</u>	令和元年11月19日	午前・ <del>午後</del> 11時00分
議席番号 <u>6</u> 番	廣田清実	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 市街化区域の町有地の活用について (答弁者) 町長</p> <p>今年の9月21日に岩手医科大学附属病院が開院し、定住を希望する人が増えています。事実として、紫波町では、住宅建設が増え人口も増加しています。本町としても、移住定住を促進するため対策が急がれることから、以下伺います。</p> <p>① 市街化区域内にある旧矢巾中学校跡地の利用について、6月会議において活用方法を質問し、検討委員会で意見を伺いながら検討していくとの答弁であった。その後、検討委員会ではどのように活動し、今後の見通しはどのようになっているのか、活動状況と進捗状況を伺う。</p> <p>② 旧矢巾中学校跡地について、社会教育施設であるグラウンド部分とそれ以外の部分を分けて、それぞれ個々に開発または活用する考えはないか問う。</p>

質問 2

(質問事項) 学力向上の取り組みについて

(答 弁 者) 教育長

学習塾が複数あるなど、本町は県内の中でも学習する環境に恵まれている方であると思われます。全国学力調査の結果について、本町の学力は県平均とほぼ同様と聞いております。小中学生の学力向上を図る取り組みについて、以下伺います。

- ① その学年によって学力が異なるという答弁が過去にあったが、このことに対する町の教育対応はどのように考えているか伺う。
- ② より一層の学力向上に向けて、施策や研修等の充実を図るため、予算を要望していく考えはあるか伺う。

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. <u>6</u>	令和元年11月19日	午前・ <del>午後</del> 11時40分
議席番号 <u>7</u> 番	高橋安子	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 多世代型地域包括支援体制について (答弁者) 町長</p> <p>長寿社会を全ての町民が元気で活躍でき、地域で安心して暮らす環境を整えることを目的に、地区公民館等を拠点とした多世代型地域包括支援体制としての「エン(縁)ジョイやはばネットワーク」がスタートし、取り組み始めて半年が経過したことから、以下伺う。</p> <p>① 現在、取り組みを実施している地域はどのくらいか。 ② 「エンジョイやはばネットワーク」は、多世代の交流を通じて地域における支え合い体制を構築するという趣旨のものであるが、多世代で活動している地域はどのくらいあるか。 ③ 車で参加する高齢者の割合はどのくらいか把握しているか。 ④ 高齢者が雪道を歩行するには危険が伴うと予想されるが、送迎サービス等を実施している地域はあるか。 ⑤ 半年が経過して、本事業の反省点や課題はあるか。また、その改善策は。</p>

<p>質問 2</p>	<p>(質問事項) アンテナショップ開設について (答 弁 者) 町 長</p> <p>アンテナショップとは、自治体などが自らの特産品のPRや観光・イベント情報の発信等の目的で開設している施設である。本年9月、岩手医科大学附属病院が移転し、本町の交流人口が大幅に増加した。通院患者や入院患者だけでなく、勤めている方も多いことから、矢幅駅や矢巾スマートICを利用する患者も多いと思われる。本町の観光やイベント、特産品等に興味を持つ方もいると思われ、今が町のPRのチャンスのあるときであることから、以下伺う。</p> <p>① 町内に、アンテナショップや観光案内所を設置する考えはあるか。</p> <p>② 現在、町内外で本町の観光や特産品の案内・販売を実施している場所は何カ所あるか。</p> <p>③ 東京にある岩手県アンテナショップのイベントに、本町から参加している地域はどのくらいあるか。また、他団体等を通じて県内外で本町の特産品を販売促進する取り組みは、年間どのくらい実施しているか。</p> <p>④ 今後、プロモーションビデオ等を作成する予定があるか。</p>
<p>質問 3</p>	<p>(質問事項) 煙山ひまわりパークの観光振興について (答 弁 者) 町 長</p> <p>国指定史跡徳丹城跡や宮沢賢治が訪れた南昌山など、本町にはさまざまな観光地がある。南昌山の麓にあり、毎年多くの観光客が訪れる煙山ひまわりパークについて、以下伺う。</p> <p>① 煙山ひまわりパークに、ひまわりや菜の花だけではなく、長く楽しめる花を植える計画はあるか。</p> <p>② 煙山ひまわりパークを中心に、子どもや高齢者が楽しめる施設を整備する考えはないか。</p> <p>③ 煙山ひまわりパークの南側駐車場の今後の整備計画は。</p>



# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. 7	令和元年11月19日	<del>午前</del> ・午後 2 時55分
議席番号15番	山崎道夫	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 移住支援の取り組みについて (答弁者) 町長</p> <p>Uターン・Iターンを促し、地方を担ってもらう国の事業が今年度始まったが、人手不足が深刻な地方へ首都圏から人の流れをつくる狙いがあるとされている。</p> <p>首都圏から岩手など地方へ移り住む人に、最大100万円が支給され、移住した地で起業すると、さらに200万円が上乘せされるといった内容である。</p> <p>地方への移住情報を提供する「ふるさと回帰支援センター」への2018年度の移住相談件数が過去最高の4万件を超えたと発表しているが、10年間で約11倍と、移住への感心が年々高まっているといわれている。</p> <p>支援センターによると相談件数の増加と共に、移住する人も増えているといわれているが、最近では地方都市へのニーズが高いといわれており、まず地方都市へ移住してから農山村に行くといった2段階移住の取り組みも目立つと説明している。</p> <p>これに伴い本県は、今年度に100人移住の目標を掲げたが、来年度以降は年間150人程度の利用を見込んでいるとのことであり、移住支援金のうち県や市町村も4分の1ずつを負担する取り組みである。</p> <p>本町も県と足並みを合わせ、移住支援の取り組みを進めるべきと考えることから、以下伺う。</p>

	<p>① 岩手県は2018年度、入る人より出る人が多い「転出超」が5千人に上ったとのことであるが、本町の昨年度の転入、転出の状況を伺う。</p> <p>② 本町に対する、Uターン・Iターンの希望者の状況と、実際町内に住んでいる方はどの程度いるのか。又、移住支援金の対象者はいるのか。</p> <p>③ 移住支援金は中小企業への就職が条件であるが、得意分野を生かせる会社の情報などは、なかなか得られないのが実態であると思われる。今まで町としてマッチングなどを支援した実績はあるか。</p> <p>④ 本町はふるさと納税やローカルブランディングの取り組みを通して認知度が年々向上してきていると思うが、今後移住を希望する人と地元企業をつなぐサイトを充実させるなど、きめ細かな対応を行うべきと考えるがどうか。</p> <p>⑤ 移住希望者の受け入れは、3万人構想の実現や働き手の確保等重要な取り組みであり、移住者の獲得は自治体の政策で差が開く時代になったといわれている。矢巾町に移住を希望する人を一人でも増やすため、今後、どのような政策と支援体制でアピールする考えなのか伺う。</p>
<p>質問2</p>	<p>(質問事項) プログラミング教育に向けた取り組みについて (答弁者) 教育長</p> <p>2020年度からの新学習要領に盛り込まれる小学校のプログラミング教育必修化に向け、昨年12月会議において質問したが、プログラミング教育に対する県の指針が出されていないとのことで、具体的な取り組みについて詳しく示されなかった。今年度、県の指針が示されるとのことであったが、以下について伺う。</p> <p>① 県の指針は示されたのか。また、国の目標で示されている3人に1台のパソコン配備に向け、本町も整備するとしていたが、現在の状況を伺う。また、タブレット端末の配</p>

	<p>備状況と、活用について示されたい。</p> <p>② プログラミング教育の目的や必要性について、また、どんな効果が期待されるのか示されたい。さらにはプログラミング教育について生徒や保護者にどのように伝え、取り組む考えなのか伺う。</p> <p>③ 本町において、模擬授業は既に行われているのか。行われているとすれば、誰が指導し、その際の子ども達の反応はどのようなのか。</p> <p>④ 単発の模擬授業ではなく来年度の導入に向け、教える側と教わる側の不安解消ができるよう、さらには子ども達にとって興味が持てる楽しい授業になるよう、例えば6年生を対象に複数回実施するなど、前向きに取り組むべきと思うがどうか。</p> <p>⑤ 教材の選択やカリキュラム作成はどのように進めるのか。また、先生方の準備や研修（研究授業等）はどのように取り組まれているのか。</p>
<p>質問3</p>	<p>(質問事項) コメの消費拡大に向けた取り組みについて (答弁者) 町長</p> <p>農業が基幹産業である本町の主要作物はコメですが、そのコメの需要が減少傾向にあり、コメ作り農家の意欲に水を差すような状況が続いている。</p> <p>特に近年は、コメのような炭水化物の摂取量を抑える「糖質制限ダイエット」が人気となっており、コメ離れがじわじわと広がる傾向が続いていることから、コメの消費の減少が危惧されている。</p> <p>こうした状況の中、おにぎり中心の食事と運動を組み合わせ、無理なく体重を減らすプログラムの効果を、JA全農とスポーツクラブを運営する東京都のルネサンスが今年1月に発表した。</p> <p>それによると、全国のルネサンス91店舗で昨年10月から1カ月間の体験キャンペーンを実施し、その結果について明らかにしたものである。それは参加者ごとに年代や性別の基</p>

礎代謝、運動量などから1日の消費カロリーを算出し、これを基におにぎりの個数とおかずの量を決めるというものであり、おにぎりを毎日食べて個人に合ったトレーニングを組み合わせて実践したとの内容である。

アンケートに答えた537人の結果をまとめたところ、おにぎりダイエットで7割以上が腹囲の減少に成功したと回答したとのことであり、平均は2センチ減で、13センチ以上の減少を達成した人もいたとのことである。

おにぎりが中心の食事だと脂肪を取り過ぎることがなく、具材と合わせて栄養バランスに優れるため、ダイエットに良いとされている。全農は糖質制限ダイエットが流行ってはいるが、お米を食べても痩せられることが改めて分かったことから、自信を持っておにぎりダイエットを勧めたいとし、インターネットや首都圏と関西のJRと地下鉄車両におにぎりダイエットの効果をPRする広告を出しているとのことである。

本町に於いてもこうした情報を検証し、健康づくりリーダーの養成講習など、さまざまな機会を捉えおにぎり中心の食事と運動の組み合わせにより、ダイエット効果とメタボ解消が図られることを大いにPRし、多くの町民の皆さんに、コメのすばらしさ、おにぎりのすばらしさを認識してもらい、コメの消費拡大を地元から前向きに取り組むべきと考えるが、所見を伺う。

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. 8	令和元年11月20日	<del>午前</del> ・午後 1 時00分
議席番号 1 番	藤原信悦	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 徳丹城跡周辺及び藤沢伏森古墳群の整備と地域活性化について (答弁者) 教育長</p> <p>徳丹城跡は、国指定史跡（昭和44年）となって今年で50年が経ちます。このエリアには、かつて商店や住居等が立ち並び、徳田地区の中心地として賑わいがありました。史跡指定にともなう移転により寂れております。今は歴史民俗資料館と佐々木家曲家があるだけです。</p> <p>平成30年に策定した町の都市計画マスタープランでは「観光レクリエーションゾーン」として位置づけられていますが、周辺を含めた新たな整備や開発はなく、訪れる人も少ない状況です。</p> <p>また、県史跡に指定されている藤沢伏森古墳群は、現在までに82基の古墳が確認されていますが、完全な形で現存するのは1号墳のみです。この墳墓は、住宅地の中の畑の一角に単独であり、かつ、場所が分かりづらく訪れる人は稀です。</p> <p>以上のことから、以下について伺います。</p> <p>① 徳丹城跡及び周辺地域を含めた歴史公園化について、今後どう取り組んでいく考えか。その際、有志で設立された「徳丹城周辺活性化推進協議会」と連携し、地域の声や意見等も取り組んでいく考えはないか伺う。</p> <p>② 昭和32年7月に県指定史跡となった藤沢伏森古墳群は、1号墳のみが現存しているだけであり、単独では史跡とし</p>

	<p>て魅力がない。徳丹城跡とあわせて、1つのゾーンとして整備・開発する考えはないか伺う。</p> <p>③ 歴史民俗資料館では出土品等を展示し、古墳群について説明しているが、現地へのアクセスが分かりにくい。徳丹城跡や国道4号、町道中央1号線から行きやすくなるように、案内板の設置や駐車場の整備をしてはどうか。</p>
<p>質問2</p>	<p>(質問事項) 市街化調整区域における地区計画制度による企業誘致について (答弁者) 町長</p> <p>国道4号沿いの土地利用計画について、6月に地権者への意向調査、10月には2回目の地権者への説明会が行われ、11月には再度地権者へのアンケート調査が行われています。本企業誘致事業について、町の考えを伺う。</p> <p>① 誘致企業としては、B to Bの取引形態の企業ということでしたが、さらに業種を吟味する必要があるのではないのでしょうか。例えば、保管庫や車輛・機材の待機場所のような事業所は雇用を生みづらく、より多くの雇用を創出する企業を誘致すべきと思うが、町の考えを伺う。</p> <p>② 6月に本誘致事業の概要説明があり、町の役割は「事業の相談窓口」ということであった。地権者で土地取引に精通する方は少ないと考えられ、不利な状況におかれることがないように配慮すべきである。地権者が意思表示・決定しなければならないことは別として、そこまでに至る部分については少なからず町当局の支援が必要であると考え。地権者への支援という点における町の役割について、町の考えを伺う。</p>

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. 9	令和元年11月20日	<del>午前</del> ・午後 4 時00分
議席番号14番	小川文子	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) デマンドタクシーの改善と市街地循環バスの試験運行について (答弁者) 町長</p> <p>デマンドタクシーは、9カ月の試験運行を踏まえ、町民の要望に添った運行計画が求められる。また、現在、市街地循環バスの試験運行を実施しているが、その課題をどう捉えているか、以下伺う。</p> <p>① 冬期の厳しい状況下、一刻も早く戸口から戸口への運行に改善が必要である。また、町内を2つに分割するのではなく、町内どこにでも行けるようにすべきである。さらには、利用料金について、相乗りの場合値下げをすれば、利用が増えるのではないか。</p> <p>② 市街地循環バスの利用状況は。また、利用者が少ない場合、今後、市街地循環バスを取りやめることを想定しているのか。</p>

<p>質問 2</p>	<p>(質問事項) 南昌グリーンハイツの改修を (答 弁 者) 町 長</p> <p>官民あわせて町内へのプールの開設情報がない中、町民のためのプールを考えた場合、南昌グリーンハイツを改修する事が現実的ではないか。少なくない町民のニーズがあり、子ども用プールがあること、屋内であることは大きなメリットである。</p> <p>太陽光発電を組み合わせて温水プールとし、以前より営業期間を長くするなど、新たな環境に配慮した施設として生まれ変わることができるのではないか。健康とスポーツの町宣言に相応しい取り組みと考えるがどうか。また、西部の観光のためにもなるのではないか。</p>
<p>質問 3</p>	<p>(質問事項) 加齢性難聴者に補聴器支援を (答 弁 者) 町 長</p> <p>加齢により難聴となり生活に支障をきたしている方がいるが、一定基準以上の聴力があるため、聴覚障害に認定されない方がいる。</p> <p>難聴になると認知症のリスクが高くなることが研究されており、また、全国では、補聴器支援に取り組んでいる自治体もある。難聴への早期対策は認知症予防にもつながることから、中度・軽度の方を対象とした補聴器の支援を、本町でも実施してはどうか。</p>



# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. 10	令和元年11月21日	午前・午後 9 時00分
議席番号 4 番	谷上知子	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 女性消防団の活動について (答弁者) 町長</p> <p>町の防災訓練に参加し、消防団と女性消防団の活動の重要性を感じました。「火災を初期に防ぎ、人を救助する」。瞬時に判断できる意識と技術に感銘を受けました。活躍に感謝するとともに、女性消防団の今後について伺います。</p> <p>① 現在の女性消防団の団員数と年齢層について伺う。 ② 女性消防団の防災技術向上のための研修は、どのように実施されているか。 ③ 団員数や研修の今後の展望について伺う。</p>
質問2	<p>(質問事項) 除雪と排雪について (答弁者) 町長</p> <p>降雪期の自宅周辺の除雪と排雪は、肉体的にも精神的にも大きな負荷となります。特に、高齢者の家庭や体の不自由な方々の家庭では、相当な重労働であります。高齢化社会を迎え、除雪と排雪対策を立てなければならない時期に来ているのではないのでしょうか。また、住宅団地内の町道の除雪車による除雪の仕方も含め、以下伺います。</p> <p>① 除雪を支援するスノーバスターズの活動状況について</p>

	<p>伺う。</p> <p>② 住宅団地内の排雪のため、トラック等による雪の運搬を町で実施する予定はないか。</p> <p>③ 一車線の幅員5メートル程度の町道の除雪について、中央だけ1回になっているので、道路全体を除雪するようできないか。</p>
<p>質問3</p>	<p>(質問事項) 交通渋滞緩和と安全な通学路について (答弁者) 町長</p> <p>岩手医科大学附属病院の開院に伴い、交通渋滞が懸念されましたが、開設当時に比較すると渋滞はずいぶん解消されつつあります。しかし、医大周辺やアクセス道路の交通量は増加しており、今後一層の渋滞緩和と通学路の安全のため、信号機と横断歩道の設置について伺います。</p> <p>① 医大前の町道中央1号線の信号機すべてに、右折信号機を設置できないか。</p> <p>② 医大前の町道中央1号線の信号機について、視覚障がい者などのため、音の出る歩行者用信号機にしてはどうか。</p> <p>③ 北高田こども園前の町道は見通しが悪いので、横断歩道を現在の位置より東側へ移動できないか。</p> <p>④ 西前橋は、徳田小学校児童の通学路として利用されている。通学する時間は交通量が多いことから、西前橋の西側に横断歩道を設置してはどうか。</p>

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. 11	令和元年11月21日	午前・ <del>午後</del> 9時25分
議席番号13番	川村よし子	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 保育園等の副食費無料化について (答弁者) 町長</p> <p>10月から保育・幼児教育の無償化に伴い、保育料に含まれていた給食のおかずやおやつ代にあたる副食費が実費徴収になった。町では、保護者負担を極力少なくするため、所得段階に応じた保育料の設定や軽減率を引き上げてきた。保育園の副食費について、以下伺う。</p> <p>① 副食費の集金は、各保育園が集金する仕組みだが、保育園の業務が増えたことから、町としてどのように支援しているのか。</p> <p>② 保育・幼児教育の無償化に伴い、副食費を徴収することになったが、低所得世帯や多子世帯など、金銭的負担に逆転現象が生じている世帯はないか。</p> <p>③ 給食を含め保育の一環であることから、副食費を無料にできないか。また、副食費の無料化を実施した場合、町としての年間の負担はどう試算しているのか。</p>

<p>質問 2</p>	<p>(質問事項) 学校給食費の無料化について (答 弁 者) 教育長</p> <p>教育民生常任委員会で埼玉県滑川町の給食費無料化について視察した。滑川町は、10年以上にわたり財政調整基金を活用し、給食費の無料化による子育て支援に取り組んでいる。これに伴い、学校が明るくなり成績も上がるという成果が出てきていることや、子育て世帯の人口増につながっている。</p> <p>小中学生の給食を無料化した場合、約1億1,000万円の経費がかかると過去に答弁があった。</p> <p>給食費の無料化について、半額助成や小学校低学年までなど、前向きに取り組むことはできないか伺う。また、計画を立て、段階的に取り組んでいく考えはないか伺う。</p>
<p>質問 3</p>	<p>(質問事項) 日米貿易協定と農業者支援について (答 弁 者) 町 長</p> <p>輸入食品が多くなり、日本の食材と比較しても安価である等の理由から、日本の食料自給率は37%と低下している。日米貿易協定について「日米双方にとってウインウインの関係」と説明し衆議院本会議で可決されたが、農業新聞によると、「日本の農業への影響は強まる」が80%に達していると報道している。国の農業支援の状況は大規模経営への支援が多く、家族農業が衰退してきていることから、以下伺う。</p> <p>① 農業者の高齢化が進んでおり、農業の継承のため、新規就農支援事業の拡大が必要である。新規就農者の確保・育成について、町ではどのように取り組んでいるのか。</p> <p>② 日米貿易協定は更なる食料自給率の低下を招くことにつながると考えるが、町の食料自給率を引き上げる具体策は何か。</p>

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

受付 No. <u>12</u>	令和元年11月21日	午前・ <del>午後</del> 10時10分
議席番号 <u>11</u> 番	藤原梅昭	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 町民の命と財産を守る「セーフティファースト」 安全第一の対応状況について (答弁者) 町長</p> <p>① 台風19号発生から1カ月余り経つが、農産物を含む当町の被害状況及び災害避難情報への対応状況を伺う。</p> <p>② 北上川水害想定危険地域の防災対応及び洪水ハザードマップの見直し状況について伺う。</p> <p>③ 当町に「バックウォーター」と呼ばれる危険対象河川はあるのか伺う。</p> <p>④ 当町一級4河川の改修進捗状況及び煙山ダムの今後の改修計画をそれぞれ伺う。</p> <p>⑤ 41全自主防災組織の避難訓練活動状況及び地域住民の参加状況を伺う。</p> <p>⑥ 以前危険ため池に指摘された朴沢堤の対応状況を伺う。</p> <p>⑦ 倒壊の恐れのある塀及び立ち木・電柱は何カ所あるのか。また、対応状況を伺う。</p> <p>⑧ 自然災害は地球温暖化が大きな要因と言われているが、CO2削減への取組状況及び計画を伺う。</p> <p>⑨ 地球環境破壊の要因として、海洋汚染を招くプラスチックごみ問題が世界的規模で問題になっている。川から海への流出物が約80%と言われているが、「クリーンなまちづくり」への対応状況を伺う。</p>

質問 2

(質問事項) 職員力を活かした町政運営について

(答弁者) 町 長

- ① 課題が山積し正規職員数が不足している様に見受けられるが、短期間も考慮した増員の予定はないのか。
- ② 正規職員数と同じくらい非正規職員が多数勤務しているが、正規職員への登用制度はあるのか伺う。
- ③ 同一労働同一賃金と叫ばれているが、非正規職員の給料や賞与をどのように考えているのか伺う。
- ④ 人事異動が頻繁で、個々の力が十分に発揮されていないようだが、異動についての考えを伺う。
- ⑤ 働き方改革による、時間外勤務状況並びに産休も含めた有給休暇の取得状況を伺う。